

|   |  |      |                |
|---|--|------|----------------|
| ≪阿南市在宅医療・介護連携支援センター事業≫<br>介護サービス事業所部会 【報告書】 |  |      |                |
| サービス種別                                      | 特別養護老人ホーム部会  |      |                |
| 開催日時  | 令和7年7月14日(月)<br>14:00~15:30  | 開催場所 | 阿南市役所3階 308会議室 |
| 部会代表者                                       | 久世   | 報告者  | 久世             |
| 議題  | ①阿南市在宅医療・介護サービス事業所代表者会(5/20 開催)の報告<br>②阿南市在宅医療・介護連携支援センターにおける4つの場面についての意見交換・情報共有<br>③今後の部会運営(部会長改選等)について |      |                |

|        |   |
|--------|---|
| 議題①    | 阿南市在宅医療・介護サービス事業所代表者会(5/20 開催)の報告   |
| 検討した項目 | 5/20開催の阿南市在宅医療・介護サービス事業所代表者会議において話し合われた内容を資料(会議録)にて確認し、各部会でも顔の見える関係性を構築して連携事業の趣旨に基づき阿南市全体で課題(4つの場面における目指す姿の達成)を具体的な形に落とし込んでいく為に取り組むべき項目を考える             |
| 検討内容   | 当該事業連携の趣旨、目指す方向性についての共通認識を得る  |
| 結論     | 阿南市在宅医療・介護連携支援センター・湯浅センター長より、まずは今年度からの部会編成や当該事業の趣旨、今年度に阿南市及び各事業所として取り組むべき課題について共有。次に各施設代表者による自己紹介があり、5/20に開催された会議の内容について、それぞれの現況や、それ以外の諸問題についての意見交換を行う。 |
| 残された課題 | 阿南市として取り組むべき課題も含め、各施設が抱える稼働率や人員確保等の諸問題についても代表者が集う本部会で情報共有・交換し、阿南市全体を盛り上げていく方向性を確認。  |
| 備考     | 次回部会(下半期・時期未定)時に改めて情報共有を図ることとする   |

|        |  |
|--------|--|
| 議題②    | 阿南市在宅医療・介護連携支援センターにおける4つの場面についての意見交換・情報共有  |
| 検討した項目 | 阿南市在宅医療・介護連携推進会議において承認された4つの場面における目指す姿を達成するための課題について   |
| 検討内容   | ～自分らしく暮らし続けられる医療・介護連携のまちづくり～を推進するための課題解決に向けて障壁になると思われる事項について   |
| 結論     | <p>(独居・身寄りのない方への支援)<br/>各施設での判断で受け入れている状況であるが、『治療の方向性を決めたり、緊急時の対応・看取り判断はどうする?』という話になる。『市や県が書面等で受け持って(保障して)くれたら良いのだが…』</p> <p>(透析患者の受入について)<br/>現在阿南市内で透析患者を受入れている施設はない。人員・コスト・利用者の負担が障壁となっていると考えられる。天満グループにおいて受入のモデル事業を実施予定であり、この結果を踏まえて補助金や救済制度の要望を県に上げていく予定。<br/>各事業所で受入に関して「何が支障になるのか」等を抽出し、市へ情報提供してはどうか。</p> |
| 残された課題 | <p>(独居・身寄りのない方への支援)<br/>現状は各施設が人道的に受入れを検討・判断している。本当に身寄りがいないのかどうかの確認方法や、公的機関による保証を前提とした後押しがあれば有難い。</p> <p>(透析患者の受入について)<br/>『自分が自宅で生活できないと判断した時にどうするか?』の透析患者向けのアンケート調査に大多数の人が『施設へ入所する』と回答している実態があり、現状との乖離が大きい。モデル事業を機に補助金や救済制度が確立することを期待する。</p>   |
| 備考     | 次回部会(下半期・時期未定)時にモデル事業等の進捗を確認   |

| 議題③    | 今後の部会運営(部会長改選等)について   |
|--------|---|
| 検討した項目 | <p>(1)今年度からの部会組織編制について<br/> (2)令和7年度部会長及び副部会長について</p>   |
| 検討内容   | <p>(1)在宅医療・介護連携センター湯浅センター長から、「老健・通りハ・訪リハ」部会としていたが、施設数が少ないこと、老健施設部門は特養と通ずるものがあることから、部門編成をすることとなったことに関する報告<br/> (2)令和7年度部会長については、既に推進会議の承認を得ていることもあり、引き続きヴィラ羽ノ浦・久世が部門長を務めることとなることを報告。部会長は持ち回りとして、今年度副部会長である、緑風会ルネッサンス・三間施設長が次年度の部会長に就任することの報告</p> |
| 結論     | <p>(1)令和7年度新体制発足の承認<br/> (2)令和7年度の部会長(ヴィラ羽ノ浦 久世施設長)、副部会長(緑風会ルネッサンス 三間施設長)就任の承認</p>  |
| 残された課題 | <p>3月及び今回の部会共に不参加の特養への対応</p>  |
| 備考     | <p>不参加の特養に対しては諸事情あると思われるが、可能な限り次回も参加を呼び掛ける。</p>   |

【会議風景写真】

